

『川づくり案を作成した自分たちが、自ら川づくりに関わる』

十勝川中流部市民協働会議だより 10号

平成26年10月18日（土）午前、十勝川相生中島湿地（平成24年度造成）において農業高校（生徒14名、先生1名）と当会議メンバー等により魚類調査を行い同湿地における魚種と数を調査しました。同湿地での魚類の生息状況の変化を把握することを目的に、同調査を今後も継続する予定です。

11月2日（日）午前、十勝大橋上流音更町側の高水敷において農業高校（生徒11名、先生1名）と当会議メンバーによる在来草本による草地復元を目的に、オオヨモギやオギ等の在来植物種のタネ播きを行いました。

11月10・13日には、十勝川途別川合流点上下流において工業高校3年生・2年生が同地区の草地復元を目的に、在来植物種のタネ播き作業を行いました。また、保全した河畔林内の散策路の整備、タンチョウ用餌台設置作業を行いました。

10月18日 帯広農業高校（15名）による、相生湿地における魚類調査



11月2日 帯広農業高校（生徒12名）による、十勝大橋上流左岸における在来植物のタネ播き作業



11月10・13日 帯広工業高校3・2年生（各学年40名参加）による、十勝川途別川合流点上下流種子播種・散策路設置、タンチョウ餌台設置作業

